

投資ファンド『一銭』 投資理念

投資の力で、暗闇を照らす一筋の光を灯したい
きっとその先に、つながる明日があると信じて



■運用方針・銘柄選定基準

1. 市場の動向調査・情報収集に努め、利益が最大/損失が最小となる運用方法を選択し、資産を形成あるいは保全するために必要なアクションを迅速かつ適切に執行します。
2. 社会的責任投資(SRI)を基本理念に掲げ、投資家が担うべき役割・使命を果たすためCSRを履行しない反社会的な企業・団体に対しては一切の投資/取引を行いません。
3. 社会への貢献度が高くその経営理念に共感できる企業に対し、長期保有を前提とした集中的な投資を行い、毎年得られる配当金により安定した収益の確保を目指します。
4. 身の丈に合った運用を実践するため、自己資金による株式・社債の現物取引に専念し、他人資本やレバレッジを用いる信用取引・先物・FX・不動産投資等は取扱いません。

■基本行動方針 4つの『ISSEN』

1 一戦必勝！

金融市場はひとたび判断を誤れば投資家生命を失いかねない、いわば“戦場”である。常に緊張感を持って市場の動向を注視・分析すること。また、現状に満足することなく、次の一手となる新たな投資先や運用方法に関する情報収集と研究を怠らないこと。

2 一銭に感謝

たかが一銭と侮るなかれ。投資金額・保有株数が多くなれば僅か一銭の値動きでさえその影響は大きい(為替の変動もまた然り)。一銭の値上がりにも感謝の念を忘れず。今日の一銭を笑う者は明日の一銭に泣くものと心得よ。

3 一線を描す

分析力・判断力と資金の即応能力を生かし、他の投資家の一歩先・斜め上を行くべし。人の行く裏に道あり花の山、仕掛けと手仕舞いは『素早く』『鮮やかに』『迷うなかれ』

4 壱千萬まで

運用額の上限を1000万円、総資産に占めるリスク資産の割合を50%以下に制限する。『驕らず』『謙虚に』『冷静に』欲に飲まれることなく節度を持って資産運用に励むべし。

～投資ファンド『一銭』の設立に寄せて～

当ファンドのシンボルマークは昭和16年から18年まで発行された一銭玉をモチーフとしています。富士山が描かれたこの一銭玉は戦時中の物量難の時代に鋳造された数少ないアルミ硬貨です。相場というシビアな世界に身を置く者として、高額なトレードに慣れて一銭の重みやありがたみを忘れてしまわぬよう、自戒の念を込めて『一銭』をファンド名とシンボルマークに選びました。

さて今日も同じく、ワーキングプアに象徴されるように“経済的”物量難の時代に突入しています。しかしながら、そのような社会情勢に翻弄されることなく、いま・そして未来をより良く生きるために、私どもは持てる英知と資源を最大限活用し、着実な資産形成を図って参りたいと考えております。



投資ファンド『一銭』代表
古尾谷 亮則

平成27年10月10日大安吉日

【ファンド概要】

- 商号等 投資ファンド『一銭』 ISSEN Investors' Fund
- 設立日 平成27年10月10日
- 資本金 1,800万円※ (資本準備金 800万円含む)
- 代表者 古尾谷 亮則 (業務執行社員/運用責任者)
- 事業所 神奈川県相模原市中央区
- 優先市場 東京証券取引所(日本取引所グループ)
- 主要取引先 【LT部門】野村證券(株) 【ST部門】(株)SBI証券 【FD部門】JA相模原市他

当ファンドは自己資金の運用を目的とした、金融庁への届出・登録に依らない個人ファンドです。金融商品取引法で定められた第二種金融商品取引業の登録要件(※最低資本金他)に準拠し運営を行っていますが、投資の勧誘や資金の募集・運用受託業務などは一切行っておりません。

麗峰富士山の裾野に
瑞雲があしらわれた
縁起の良いデザイン
だと個人的には思います。

